

会議結果報告書（公開用）

- 1 会議の名称
令和元年度第1回光市立図書館協議会会議
- 2 開催日時
令和元年7月3日（水） 13時30分～15時
- 3 開催場所
大和コミュニティセンター2階会議室2号
- 4 出席者
7名（光市立図書館協議会委員 8名中1名欠席）
- 5 公開・非公開の別
公開（傍聴人 1名）
- 6 会議の議事録（要旨）
 - (1) 任命書交付（2名）
 - (2) 会長挨拶
 - (3) 館長挨拶
 - (4) 自己紹介（委員・事務局）
 - (5) 資格審査（委員8人中7人出席、につき成立）
 - (6) 議事
 - 議題1 平成30年度事業の報告について
 - 議題2 令和元年度事業の推進について
 - 議題3 各委員からの提案事項等について

（議題1）平成30年度事業の報告について

（事務局）

平成30年度事業の報告について説明

（委員）

雑誌の購入点数が77種というのは少ないように思う。「雑誌スポンサー制」という制度があるので、活用を検討していただきたい。

（事務局）

県内他館の状況等を調査し検討していきたい。

(委員)

児童の一層の利用を促進するため「こども新聞」の購入を検討していただきたい。

(事務局)

ご意見を参考に検討したい。

(議題2) 令和元年度事業の推進について

(事務局)

令和元年度の実業について説明

(委員)

大和分館をより多くの方に周知して利用していただけるように工夫をしていただきたい。

(委員)

「朗読グループおはよう」主催で、大和分館でお話し会を実施している。多くの方に参加していただくよう工夫し、子供たちが本や図書館が好きになる一助になればと考えている。

(委員)

近年多忙のせいもあり児童が、公立図書館・学校図書館を利用する頻度が少ないので、市立図書館の取り組みの情報をいただけたら周知するよう努めたい。

(委員)

幼児のうちには図書館を多く利用されているが、小学生になると利用が少なくなる傾向があると思う。図書館まつりの「幼児絵画展」など、子供の利用が見込まれる取り組みを促進していただきたい。

(委員)

子どもの読書推進の取り組みは家庭との連携が必要不可欠と考えて、以前小学校の図書館で親の読書会や絵本作家を招いて講演会を開くなどして、読書のきっかけづくりをしたことがある。こういった取り組みを実施していただいて子供たちの読書のきっかけづくりになればいいと考えている。

(議題3) 各委員からの提案事項等について

(委員)

(1) 人口一人当りの資料費について、近隣市の状況について

(事務局)

平成 29 年度分について、市民一人あたりの資料費の各市の状況

光市は 267 円、下松市は 492 円、周南市は 209 円、柳井市は 152 円、防府市は 255 円となっている。

(2) 利用者からの希望図書の購入についての対応について

(事務局)

「リクエスト」という形で、利用者から希望図書を受け付け、出版から 1 年未満の図書については、司書が収集基準に照らし購入を検討。出版から 1 年以上経過した図書は、中国地方の図書館及び国立国会図書館の蔵書がある場合、利用者を確認の上借り受け、貸出を行っている。

(委員)

希望図書については、良質かつ豊富な蔵書によりあらかじめ利用者の希望にこたえられるよう努めていただきたい。

(委員)

(1) 大和分館の利用状況と運営状況について

(事務局)

大和分室については、平成 28 年度が 15,043 人、平成 29 年度が 14,137 人と、年間利用者数の微減が続いているが、大和分館として、開館した 4 月は前年度と比べ利用者増となっている。

運営状況については、これまでの分室同様の臨時職員を 2 名、開館時間も同様としている。

(委員)

地域の歴史的資料として保存の価値が高いものは、適切に保管されるようお願いしたい。

(委員)

(1) 図書館と学校連携の活性化について

土日や長期休業中に子どもたちが足を運ぶ機会が多くなるよう、また学校での学びが充実していくよう学校との連携の活性化を進めていければと考える。

(事務局)

子どもの読書・資料を活用した学びを支えていくには、身近な大人の働きかけが重要だと認識している。「学校図書館&市立図書館連携マニュアル」

を活用していただきながら、より一層の連携を図っていきたい。

(委員)

(1) スローライフ図書館として

ゆっくり、ゆったり読書を楽しむために、例えば障害者就労施設と協働してカフェができるとよいと思う。

(事務局)

館内の飲食については、熱中症予防のため蓋つきペットボトル等以外の飲食については禁止としており、屋外テラス席で、花や緑を見ながらの飲食を行っていただいている。

障害者就労施設等との協働によるカフェについては、今後の参考にさせていただきます。

(2) 学びの場として

生涯学習の一環として、体験型講演会として、絵本や簡単な読み物の一節など気軽に参加できるもので、みんなで音読の楽しさを味わう会が、年に1～2回でもできたらよいと思う。

(事務局)

高齢者サービスの一例として、鳥取県立図書館で取り組んでおられる「音読教室」の事例発表をお伺いしている。ご意見を参考に検討していきたい。

(委員)

(1) 図書館まつり協力をお願い

本年度の図書館まつりは、11月9日(土)に開催する予定。

継続して取り組むことで、まつりが広く定着し、日頃図書館に来たことのない方にも、図書館を訪れるきっかけとなればとの思いがある。

(委員)

高齢化社会で図書館の利用者も高齢化が進むと思うので、回想法を用いた取り組みについても検討していただきたい。

7 問合せ先

光市立図書館

電話番号：0833-72-1440